

迎春

安心・安全に暮らせる まちづくりを目指して

湯浅町長 上山 章善



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

平素は、町行政に対してご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も引き続き、町民の皆さまに「安心安全」を、そして湯浅町発展のため様々な施策を展開してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、私が町長に就任してから7年が経過し、今年の9月でちょうど8年になります。誰もが安心して安全に暮らせるまちを目指し、無我夢中で今日まで走ってまいりました。道中、本当にたくさんの方々から熱い言葉で励ましのエールをいただき、背中を押してもらって、ここまでやっていくことができました。思いおこせばリーマン・ショックによる世界的な金融危機や東日本大震災の発生など歴史に残るような出来事が起こり、私たちを取り巻く環境は厳しさを増すとともに、絶えず大きな変化を続けてきました。そのような中でも防災ラジオの全戸配布や津波避難マップの作成、小中学校等教育施設の耐震化・建替え、役場及び消防庁舎、田保育所・老人ホームの高台移転など数々の事業の実現に至り、目指すまちの将来像に近づくことができ、心から感謝しています。一方で、安心して子育てするための保育所整備や醤油や金山寺味噌、みかん、新鮮な魚介類といった特産物いわゆる湯浅ブランドを活用した地域活

性化、駅前周辺をはじめとするまちなかの整備による賑わいの創出など、まだまだやらなければいけないことが山積していますので、引き続き、職員と一丸となり、全力で取り組んでまいります。

今年は、湯浅町制施行120周年の節目の年です。この輝かしい年を迎えるにあたり、昨年1年間を「湯浅再生元年」と位置づけ、将来、わがまち湯浅が大きく発展するための計画づくりを進めてまいりました。大勢の方々のご協力を頂き、おかげさまで、「湯浅町版総合戦略」、「過疎地域自立促進計画」が完成し、「歴史的風致維持向上計画」も国への申請を行う段階まできています。また、長期総合計画も3月末に完成する予定となっておりますので、それらをもとに、町が元気になる取組みを着実に進めてまいりたいと考えています。明るい未来に向けた記念すべき第一歩を飾るべく、6月には記念式典の開催や人気テレビ番組の誘致なども検討しています。その後も、記念すべき年に見合った関連イベントを用意していきますので、楽しみにしていただきたいと思います。できるだけ多くの住民の皆さまが参加できるよう工夫・企画してまいります。

最後になりましたが、本年が皆さま方にとって、健康で喜びと幸せに満ちた年となりますことをお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。

謹んで新年の
あいさつを
申し上げます

町長 上山 章善
副町長 中 美二

議会

議長 松本 典久
副議長 松本 光成
議員 石橋千歌子
小松 英夫
石本 一也
横矢 政明
山家 敏宏
山田 真里
由良 祥治
山本 年哲

教育委員会

委員長 垣内 貞
委員 井上 栄次
竹井 猛

活力と魅力あるまちづくりを目指して



湯浅町議会議長 松本 典久

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は町議会に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年の統一地方選挙で議会も新しい体制となり、私も再度議長の職に就かせていただくことになりました。また、役場新庁舎が完成したことにより、議場も新しくなつて立派になりました。その中で、新年を迎えることになりましたが、今年も前期同様、町政の進展と円滑な議会運営に微力ながら取り組み、町民の皆さまの意見を町政に反映させる重要な役割を担っていきたいと思っています。

さて、我が国において少子高齢化の波は急速に押し寄せていますが、湯浅町においても例外ではなく平成26年4月に国より過疎地域に指定されました。また、燃料や資材単価の高騰、労働力不足などが生じており、地域の中小企業は懸命な経営努力を続けられています。

このような中であつて、わが湯浅町は豊かで住みよい、活力に満ちたまちづくりを推進するため、観光資源を活用し地域の特色を生かし、住民が中心となり活力のある地域づくりを進めていかなければならないと考えております。

今年で町制120周年を迎えるにあたって、新たに湯浅町の魅力や特性を町内外にPRし、知名度向上を図っていくような議会としても推進して参りたいと考えています。

また、新庁舎が完成したことにより、災害時の防災拠点としての機能を十分に発揮すること、近い将来起きるであろう東南海・南海地震などに対応できる災害に強いまちづくりと、人を大切にするまちづくりの推進、これからもずっと湯浅町に住みたいと思つてもらえる魅力あるまちづくりを目指し、行政と共に力を合わせて取り組んで行くことの糧になるものと考えています。

私たち議員は、住民の代表としての自覚を新たに、町の活性化と、今まで以上に暮らしやすく魅力あふれるまちづくりを目指して、取り組んでまいります。

どうか本年も引き続き、町民の皆様方のご支援、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様方の益々のご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。

年頭に当たつての御挨拶



教育長 垣内 貞

明けましておめでとうございます。皆様には、新年を迎え心身ともお健やかのことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年より教育委員会制度が変わり、新たに教育長が教育行政の中核を司ることとなりました。

それだけに、責任の重さを身にしみて感じております。昨秋、第七十回国民体育大会と第十五回全国障害者スポーツ大会が、和歌山県内各地を会場に、熱戦が繰り広げられ、湯浅町では軟式野球大会が『なぎの里球場』で二日間に行われました。

この球場では、他府県の試合ばかりでしたが、町内の小学生は二つに分かれて熱心に応援、選手の方々から「元気が出た」と喜ばれました。また町内各小学校では、郷土の名産『湯浅醤油』を、関係者の指導のもと自分達で一年かけて醸造、それを瓶に詰め、それぞれ工夫したラベルを貼つて選手に贈りました。

選手の方々は、紀州ゆあさ御殿でまりクラブから贈られた『紀州てまり』と『湯浅醤油』を両手に抱え、笑顔で帰られる姿が、とても印象的でした。

また、野球の試合で使用したボールは、湯浅中学校野球部とソフトボール部の生徒の皆さんによつて、丁寧に洗い、汚れを拭きとつて再び試合に使用できるよう懸命に努力し、暗くなるまで頑張つてくれました。

「心のおもてなし」を合言葉に、この国体を通して、小中学生の行動を、とても嬉しく思いました。

本年は、さらに学校教育はもちろん、社会教育、生涯教育に力点を置くとともに、本年は町制120周年の年でもあり、郷土の歴史を学ぶ講座等にも力を入れたいと考えております。

終わりに、皆様方の御健康と御多幸をお祈りして、新年の御挨拶いたします。